

第4章

冠詞

英訳の際に日本人にとって最も厄介なのは冠詞であろう。可算名詞と不可算名詞の区別も面倒である。文字通り、数えられる名詞が可算名詞で、数えられない名詞が不可算名詞ならそれほど苦勞もしないが、実際には、数えられそうに思える「手荷物」(baggage / luggage) は不可算名詞で、数えられそうもない「にわか雨」(shower) が可算名詞だったりするのでわけがわからない。

ところが、「数える or 数えない」という切り口から見るとわかりにくいことでも、「イメージできる or できない」という観点から考えてみると、その区別が見えてくる。すなわち、〈可算名詞〉ではなく〈可像名詞〉、〈不可算名詞〉ではなく〈不可像名詞〉と言い換えてみるのだ。この分野に関しては特に伝統文法にしばられずに、独自の教授法で説明していきたい。

a と the の区別はどこまでわかっているだろうか。相手が知らないことについて述べる場合が a で、相手も知っている共通認識の事柄には the を付けると思っている人が大半であろうが、それだけでは説明できないこともあることはご存知だろう。そのような冠詞の使い方について、おそらく大部分の英語学習者は避けてきただけで、しっかりと勉強すればかなりの程度まで理解できるのである。中には、熟語や決まり文句だから理屈抜きで丸暗記した方がよい項目もあるが、冠詞の原則についても、英訳をやる以上、ひと通りは確認しておきたい。(なお、誤解がない限り、本書では a で a/an を代表させることとする)

筆者自身もネイティブスピーカーではないので、100%の把握しているわけではないが、本章に書いたことをマスターするだけでもかなり正確に英訳で冠詞を使いこなせることができるようになるものと思う。したがって、冠詞学習に関して、はなからさじを投げることはせず、まずはこの章をじっくりと読んでみてほしい。一般の参考書や文法書では興味が持てなかった何かが見えてくるはずである。なお、『a と the の底力』(津守光太著、プレイス刊)では、冠詞についてさらなる検証がなされているので、そちらも参照されたい。

● 文法運用力チェック ●

- 1. from flower to flower の flower にはなぜ冠詞が付かないのか? ⇨ §48
- 2. a good education にはなぜ a が付くのか? ⇨ §49
- 3. baggage や luggage はなぜ数えないのか? ⇨ §50
- 4. by car の car にはなぜ冠詞が付かないのか? ⇨ §51
- 5. This is a pen. を正しく訳せるか? ⇨ §52
- 6. 「本を読む」は read a book でよいのか? ⇨ §53
- 7. a は「1」を表すのか? ⇨ §54
- 8. shower にはなぜ a が付くのか? ⇨ §55
- 9. 初登場でも the にすることがあるのはなぜか? ⇨ §56
- 10. 関係詞が付いた場合の先行詞の冠詞は the でよいのか? ⇨ §57, 62
- 11. 総称を表す複数形と a と the の区別は何か? ⇨ §64, 65, 66
- 12. 固有名詞には the が付くのか? ⇨ §67
- 13. some は「いくつかの、いくらかの」という意味か? ⇨ §69, 70
- 14. some を疑問文では使えないのか? ⇨ §71
- 15. 所有格は本当に所有を表すのか? ⇨ §72